



2008/10/4

ニュース 「埼玉の子ども 70 万人体験活動」小川高等学校の皆さんが来学されました

埼玉県 の 事業である「埼玉の子ども 70 万人体験活動」で県立小川高等学校1年生の生徒さん49名が城西大学薬学部を訪れ、体験実習を行いました。

体験実習は、今年5月に完成したばかりで、7階建ての新薬学部棟(18号館)の実習室で行われました。

午前10時から午後1時45分と短い時間でありましたが、生徒の皆さんは下の2つのテーマから興味のあるものを選んで体験しました。

テーマ A. 生命倫理: 麻酔薬の効果を観察しよう

テーマ B. 薬剤業務: もっとくすりや薬剤師の仕事を知ろう-模擬薬局で薬剤業務を体験しよう-

各テーマの概要は以下のとおりです。

テーマ A. 麻酔薬の効果を観察しよう！

脳は多数の神経細胞の集合体です。外からの情報を計算し、判断して、身体の働き(運動、内臓の働きなど)をコントロールしている臓器です。全身麻酔薬は、一時的に、脳の働きを低下(意識の消失および無痛状態をおこす)させて、全身の機能を抑える目的で、おもに病院での手術の時に使用されています。

近代麻酔は、エーテルという揮発性の液体の薬物から始まりました。これを吸入することにより、外科手術が可能になり、多くの命が



白幡学部長から来学された生徒さんへの挨拶



テーマAの実習風景(1)



テーマAの実習風景(2)

救われるようになりました。一方、別の系統の全身麻酔薬に、静脈内注射で用いられるものがあります。今回の実験では、指導教員のもとで、マウス(実験動物)にこれらの全身麻酔薬を投与し、その効果を実際に観察しました。そして、麻酔と麻酔薬について知ることができました。

テーマ B. もっとくすりや薬剤師の仕事を知ろう-模擬薬局で薬剤業務を体験しよう-

薬剤師は、処方箋の受付から調剤録の作成、調剤過誤を防ぐための疑問点なく調剤を行うこと(疑義照会)、また調剤がきちんと執り行われているかどうかを確認すること(薬剤鑑査)、さらに、患者が医薬品を正しく服用してもらうように説明する服薬指導、薬歴管理を行なうこと、その他にも医薬品の供給や薬事衛生、学校薬剤師などの業務があります。これらのような多岐に渡る薬剤師の仕事や特殊製剤について、本学の模擬薬局で実際に体験しました。

体験実習終了後は、修了証を受け取り日程を終了しました。今回の体験を通じて、今後のために役立つ何かを得ただけなら幸いです。また、機会がありましたら是非もう一度城西大学薬学部へお越しください。教員一同お待ちしております。



テーマBの実習風景(1)



テーマBの実習風景(2)



実習終了後の修了証書の授与式の様子